

DL10MA 取扱説明書 補足説明

三和電気計器株式会社

1 内部の時計設定について

- 工場にて設定（日時合わせ）をした上で出荷されます。
- 日時変更は、専用の PC アプリケーション（DCmA Link）上でおこないます。
- PC が使えない状況下など、補助的に本体操作での設定も可能となっています。

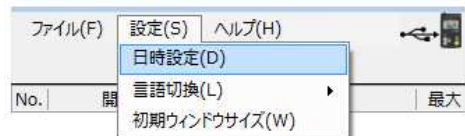
1.1. PC アプリケーションでの時計設定方法（詳細は DcmA Link のヘルプを参照ください）

【日時設定】コマンド

DL10MA本体にコンピューターの日時を設定します。

注意:

本コマンドはDL10MA本体と接続していないとクリックできません。



日時設定をクリックすると確認ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

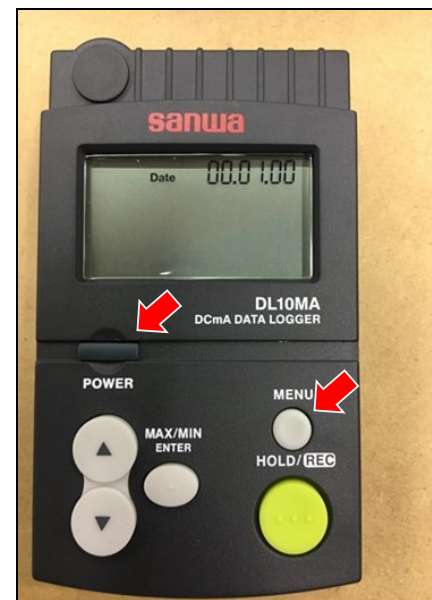


本体の日時設定が終わったら次の確認ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックして設定を終わります。



1.2. 本体操作での時計設定方法（補助）

- ① MENU ボタンを押しながら、POWER ボタンを押して電源を ON します。



- ② 時計設定モードとなり、画面上部に "Date 年.月.日" が表示されます。
- ③ ▲と▼ボタンで数字を変更し、ENTER ボタンで確定します。
年（下二桁）→ 月 → 日 → 時 → 分 → 秒 の順番で設定します。

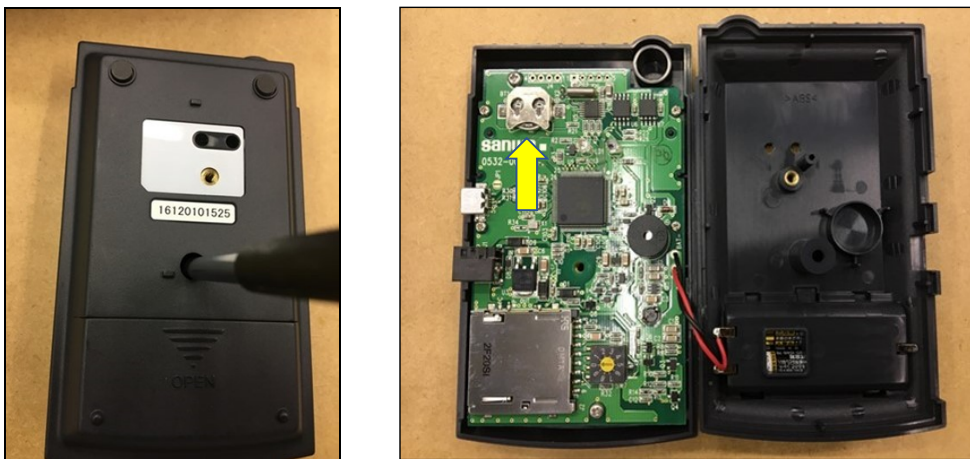
2 時計用内蔵電池の確認

- ① MENU ボタンを押しながら、POWER ボタンを押して電源を ON します。
- ② 時計設定モードとなり、画面上部に "Date 年.月.日" が表示されます。
- ③ 日時が正しくない、または日時として異常（不定）な数字が表示される場合は、時計用内蔵電池が消耗したと考えられます。

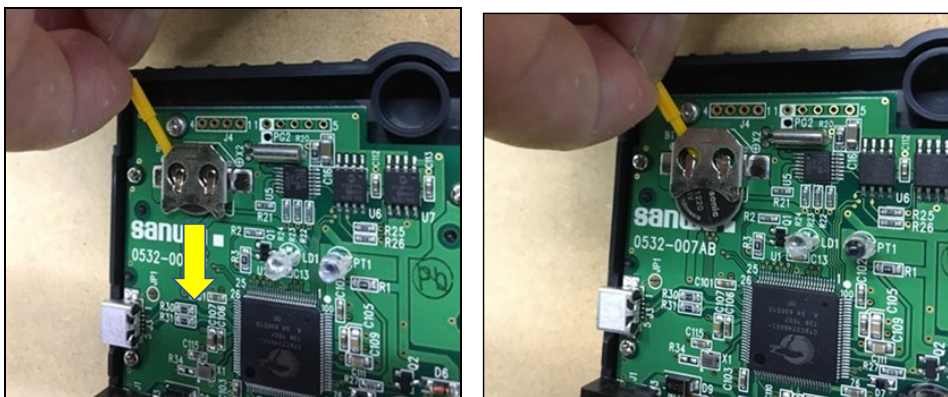
（裏面へ続く）

3 時計用内蔵電池の交換方法

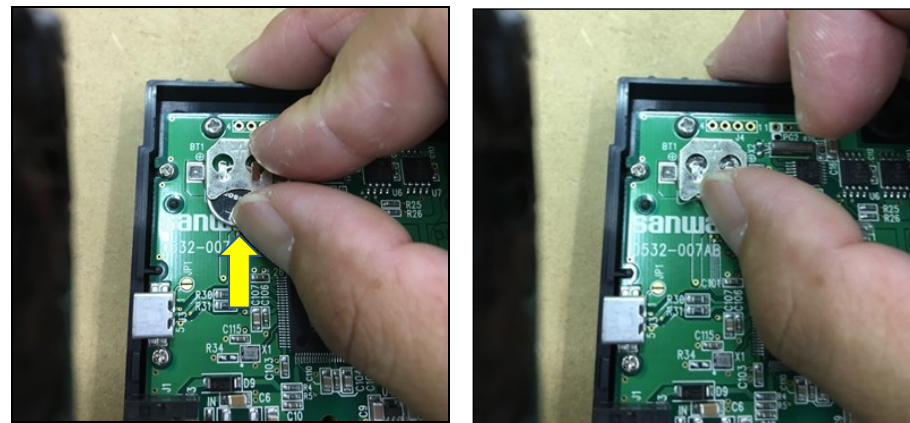
- ① 本体裏ケース中央のネジをプラスドライバーで外し、裏ケースを外します。
下図の矢印が時計用内蔵電池になります。(電池の種類：CR1220)



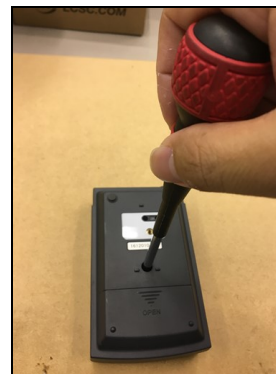
- ② 樹脂製ドライバーまたは樹脂製ピンセットを基板左上部から電池に当て、下図の方向に押し出してください(基板や部品を損傷させないように注意してください)。
その後、指で電池を取り出してください。



- ③ 新しい電池を下図の方向に挿入して、奥まで押し込みます。
電池の極性(+/−)を間違えないようにしてください。
(プラス：+ が上側)



- ④ 本体裏ケースを取り付け、プラスドライバーで元どおりに締めます。



- ⑤ PC アプリケーションまたは本体操作にて、時計設定をおこない、完了です。

4 最大記録時間について

接続するクランプセンサ(CL50MA/CL20MA)は電池駆動のため、電池が消耗すると測定が停止します。(表示器 DL10MA は AC アダプタも使用できます)

(連続使用時の電池寿命目安：クランプセンサ：約 45 時間、表示器：約 30 時間)

記録時は電池消耗時間および電池交換を考慮してご使用ください。

記録間隔の設定にかかわらず、クランプセンサは連続でデータを出力しています。